



梅田中だより

<第19号> **12月**

12月を迎え、今年も最後のまとめの時期です。

暦も12月となり、今年のカレンダーの残りも、あと1枚となりました。12月は師走と呼ばれています。年末は誰もが何かと忙しく、慌ただしさを表現する言葉でもあります。学校でも、長かった2学期が終了し、最後の3学期を迎えていく大きな節目となります。また、3年生が三者面談を終了し、自分の進路に向けて準備をする大切な時期でもあります。新しい年を迎え、さらに、大きく飛躍するために、今年の振り返りをじっくりと行い、新鮮な気持ちで新たな一歩を踏み出していきたいものです。

梅田中学校での人権学習が終了しました。

12月4日～10日までは「人権週間」です。その最後の12月10日を「世界人権デー」としています。梅田中でも、11月29日～12月3日までを「人権集中学習期間」として、さまざまな人権についての学習を深めました。普段、私たちは、たくさんの人たちと一緒に生活をしています。

自分の周りには、顔だちや体格、性格、皮膚の色、障害があるなし、子供、大人、男性、女性、これらだけでも、実にさまざまな違いを持った人が生活しているわけです。人間は、すばらしい知恵を持ち、それを活用することができる、とても賢い生き物です。しかし、時には、自分自身の気持ちを整理する機会を作らないと、これらの違いから自分は特別であるという気持ちを、強く意識してしまうことがあるようです。そして、自分は特別だから、自由に生きられると考えてしまうこともあるようです。

人権とは、「すべての人が生まれながらにして持っている、人間らしく幸せに生きる権利」ということを、再確認するためにも「人権学習」は、とても大切な機会であると思います。今年も、子供たちに、次のようなことを問いかけてみました。「身近で困っている人がいる時に、自分ならどうするだろう。自分自身のことを振り返ってみて、考えてみよう。」子供たちに人権講話として話をした中で、全国中学生人権作文コンテストで受賞した東京都の女子生徒の作文を取り上げました。「誰もが目にして、気づいてたはずである、目の見えない人からのSOSのサインを、多くの人が見て見ぬふりをしてしまうのに気づき、これは変だと感じた作者。しかし、作者の母親はすぐに手を差し伸べ、困っていた人を助けてあげました。それを見て、作者は、こういった、ほんの少しの手助けが世の中で広がっていくとよいな、と感じたという内容でした。



体育館で講話を聞く子供たち

群馬県でも、毎年12月は「いじめ防止強化月間」として、生徒玄関にも「いじめ防止宣言」の、のぼり旗が立てられます。これからも、子供たち一人一人が正しと思ったことを進んで実行できる「勇気」、そして、相手を「思いやる」やさしい気持ちをもって、皆で「協力」して学校生活を送り、よりよいクラス、よりよい梅田中学校を目指して行って欲しいと思います。



ちょっと豆知識

「世界人権デー」の由来は？

1948年(昭和23年)12月10日の第3回国際連合総会において、世界人権宣言が採択されました。これを記念して、1950年(昭和25年)の第5回国際連合総会において、毎年、12月10日を世界人権デーとすることが決まったとのことです。また、世界人権デーである12月10日を最後とする1週間を「人権週間」といいます。

善行表彰を受けた子供たちを紹介します。

【 日本善行会桐生支部青少年善行表彰 】

3年生女子

- ・生徒会長を務め、生徒会の中心として活躍しました。コロナ禍の中、学校行事の企画が難しい中でも、「全校生徒が楽しめる行事」に力を入れました。

【 桐生みどり地区学校警察連絡協議会 】

3年生女子

- ・生徒会本部役員として分け隔てなく、誰にでも公平に接しています。誰からも信頼されており、真面目で誠実な行動が評価されました。



表彰状をいただき、笑顔で応える子供たち

【 桐生ロータリークラブ善行青少年表彰 】

3年生女子

- ・卓球部の部長として練習に励み2度の県大会出場を果たしました。また、所属する卓球部での活動で励ましてくれた周りの多くの人へ感謝の気持ちを綴った作文が、学校代表となり、市弁論大会でも発表をしました。誰からも信望が厚く、誠実な人柄が評価されました。

PTAと一緒に交通指導を実施しました。

11月17日(水)にPTAの生活安全部の皆さまと一緒に交通指導を実施しました。折しも、期末テストの1日目が終了した後です。気持ちもホッとして事故に遭遇しやすい状況かもしれません。交通事故に気をつけようと繰り返し、各学年や学校全体で伝えていますが、絶対に事故にあわないという保障はありません。11月にも、下校時に生徒が自転車で帰宅する途中で転倒し、ヘルメットの中身の緩衝材(発泡スチロール製)が割れたという報告がありました。幸いにも大きなけがはなかったようですが、



きちんと一時停止する子供たち

これは、ヘルメットの中身の緩衝材が割れたことで、転倒した際に受けた大きな衝撃から、子供の大切な頭を守ることができたということがわかります。事故に遭おうと思う人はいませんが、万が一に事故に遭ってしまった時には、ヘルメットの着用が自分の大切な身体を守る最大のポイントになるのかもしれません。今後も、子供たちに安全な自転車の利用を心がけてもらいたと思います。

今回、寒い中ではありましたが、交通指導にご協力いただいた生活安全部の皆さまには、感謝申し上げます。



打ち合わせ後、配置につく皆さん



梅田中学校 学校通信 「梅田中だより」 <文責 阿部 誠二>

TEL 32-1018, FAX 32-1039

URL <http://www.kiryu-umeda-j.ed.jp/>

上のQRコード又はURLから梅田中学校のWebページをご覧ください。

※ ホームページの更新を随時しております。写真もカラーで掲載しておりますのでご覧下さい。